

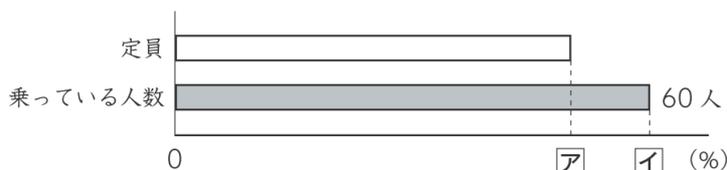
2 小学校算数

- ① 1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解していること・・・【A9】(2)

[正答率：兵庫県48.6%、全国50.9%]

調査問題

バスに乗っている人数は60人です。乗っている人数は、定員よりも定員の20%分多いそうです。定員をもとにしたときの乗っている人数の割合を、百分率を使った次の図に表します。



図の中の「ア」と「イ」には、下の4つの数のいずれかが入ります。

「ア」と「イ」に入る数をそれぞれ書きましょう。

20	80	100	120
----	----	-----	-----

[本問題に見られる課題]

- 1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の数量関係が理解できていない。
- 乗っている人数の方が定員より多いため、乗っている人数を100%とし、定員を80%と誤って考えている。
- 数量関係を数直線などの図に表したり、読み取ったりする力が弱い。

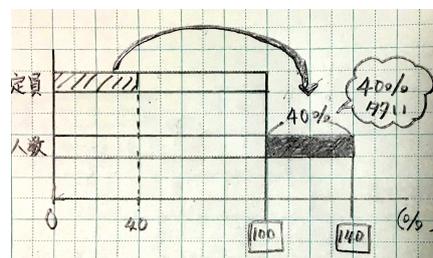


指導のポイント

問題場面を理解させ、そのイメージを数直線などの図を用いて表現し、数量の大小関係を捉えさせる。

[課題解決に資する学習活動] 例：5年 割合

- 基準量と比較量の数量関係を捉える際、以下のような表現活動を行わせる。
 - ① 問題文の数値を抽出し、既知の数量と未知の数量を明らかにさせる。
 - ② 基準量と比較量との差を色分けし、視覚化させる。
 - ③ 基準量に対する比較量の関係性について、数や言葉、矢印等を図に書き込ませる。
- 系統性を意識し、下学年からテープ図や線分図、数直線等について、数量関係を図に表したり読み取ったりする活動を適宜取り入れる。



[指導系統の流れ]

